

ココタウンデイサービスセンター

症 例 概 要 利用者：80歳代 女性 要介護1

利用期間 ：令和6年6月～令和8年7月

経 過 ：

平成6年にご主人が亡くなりしばらく一人暮らしをされていたが認知症の症状が出始め心配されたご家族がデイサービスを勧め令和6年5月に義娘と見学にいらしたが拒否が強く義娘も諦めていらっしゃいました。その後ご家族の後押しもあり渋々デイサービスへの通所が開始されたが最初は笑顔も少なく週2日のご利用でした。ご本人の好きな盆栽や登山の話、絵画、体を動かす事が好きなので体操や職員のダンスを通じて次第に心を開かれ笑顔も増え今では月曜日から金曜日までの週5日の通所となりました。

内 容

鳥取県出身。4人兄弟の長女として生まれ、24歳で結婚し、息子が2人います。

結婚後はパートに出たり、油絵を10年、盆栽教室に通ったり登山等を趣味にいらっしゃいました。

平成6年にご主人が亡くなりその後は一人暮らしをしていましたが、認知症の症状が出始め心配したご家族がデイサービスを勧め、令和6年5月に義娘と見学にいらっしゃいました。見学の日の表情はとても硬く、説明の間もずっとそっぽを向いていました。説明が一通り終わったところで義娘が「お義母さんどうですか?」と尋ねると、「私はこんな所には来ません。お断りします。」とおっしゃり義娘も諦め顔でした。

帰りお送りする車の中で義娘から聞いた盆栽の話題を投げかけたところ、見学時とは全く違う楽しそうな声で返事をして下さり会話が弾みました。その後デイサービスに来て下さる事になり、初めは週2日のご利用でしたが、現在は週5日来て下さっています。

利用が始まった頃はやはり緊張されていましたが、慣れてこられると本来の明るい姿を見せて下さるようになり、レクリエーションやイベントレクはもちろんのこと、デイサービスでの時間を誰よりも楽しまれ、その他にも大人の教科書・臨床美術にも参加され、特に臨床美術は油絵の経験を生かして見事な作品を描かれています。いつも素敵な笑顔と共に「デイサービスに来るのが本当に楽しみなの。」と言って下さいます。

朝お迎えに行くと玄関のドアを開けて待っていて、職員の顔を見ると嬉しそうに笑い、お送りする時には必ず「明日もデイサービスあるの?」と聞かれ「はい。明日もお待ちしております。」と答えると本当に嬉しそうに「あー良かった。明日も行けるのね。楽しみだわ。今夜は早く寝なくちゃね。」と言ってくださいます。

デイサービスに通っている時間が、ご本人の笑顔を引き出す時間になっていることを本当に嬉しく思います。これからもキラキラした笑顔とキラキラした時間を守るように努めて参ります。